

農業日和

春はもうすぐそこ

今年の冬は、昨年より雪も多く寒い日が続きましたが、二十四節季ではまもなく「春分（しゅんぶん）」。昼と夜が同じ長さになる日で、生物をいつくしむころ」。暦の上でも春はすぐそこです。

先日卒業した三年生は、学習や部活動、そして農業クラブ活動に一生懸命打ち込み、その姿勢は後輩である在校生のよい見本となってくれました。農業科で得た知識と経験を活かして、これからも一つ一つの物事に真剣に向き合い、活躍してください。一・二年生は先輩と学んだことを今後

の活動に励みましょう。この本号では、卒業生のこれまでの農業クラブ活動を振り返るとともに、冬を振り返るクラブ員の学習活動や掲載しました。クラブ員全員が学校生活を充実させ、今後の活動への意識付けに活動してほしいです。



マスコットキャラクター「のうつく」
「卒業式」バージョン
(クラブ員が書いてくれました。)



卒業式の様子。天候にも恵まれ、無事に卒業式を行うことができました。

第35号
発行: 修明高校農業クラブ
令和4年3月18日

農業科3年

先輩方の活動の記録 ~卒業生の農業クラブ活動を振り返る~

卒業生のこれまで3年間の農業クラブ活動を一部まとめました。校内外ともさまざまな活動を通し一人ひとりが一つ一つ成長していきました。1・2年生は先輩の活動・成績をこれからの活動の参考にして、充実した高校生活を過ごしましょう。



農業クラブ活動: 3年間タポホ調査を実施。花いっぱい運動を夏と冬に行い、町内に花プランターを設置。1月にコロナ対策を徹底し校内課題研究発表会を運営。その他として資格取得にも多く取り組みました。



農業クラブ活動: 令和3年度では、各種競技会県大会では計12の優秀賞を受賞。さらに全国大会(兵庫県大会)にも出場。また家畜審査競技会大会の円滑な運営にあたった。



生産流通科: コーレージュ・ド・修明や棚倉幼稚園との落花生栽培などの地域とのかかわりや、校外での見学・体験を多く行いました。これからも地域と関わりながら学習していきます。



食品科学科: ローズとコラボした「桃みたいなパン」の企画や矢祭町産ラズベリーを活用したジャム製造・販売、経営マーケティング・プログラムでのオリジナル商品の企画など、校外と多く関わりました。

削蹄の技術を見学

生産流通科畜産班

12月22日(水)、本校社川農場にて畜産班6名が削蹄を見学しました。削蹄(さくてい)とは、肉用牛では1年、乳用牛では2年を目安に蹄を削ることで、牛の転倒や怪我の防止のために行われます。当日は福島市から削蹄士が来校し、1頭あたり約10分で削蹄を終える手際の良さに、クラブ員たちも驚いていました。現在本校では黒毛和牛の成牛を3頭、子牛を1頭飼育しています。日々の実習でより良質な黒毛和牛を飼育できるよう実習に取り組んでいます。



内堀県知事に報告

食品科学科製菓製パン班

ローソンとのコラボパンを企画

2月21日(月)、ローソンと共同で企画した「桃みたいなパン」を内堀県知事にビデオメッセージで報告しました。これは、製菓製パン班3年生一人ひとりがオリジナルパンを試作し、それを基にローソンが商品化した事業です。当日はコロナ対策により対面での報告はできませんでしたが、実際に食した内堀県知事から「おいしいね。」などコメントをいただきました。このパンは3月下旬まで東北6県のローソンで販売中です。クラブ員の皆さんも見かけたら、ぜひ食べて下さい。



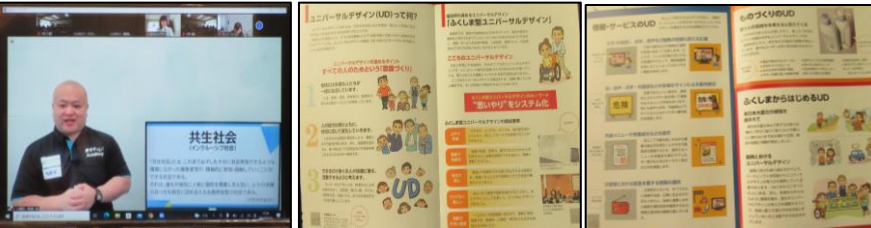
ビデオ撮影とはいえ緊張し、7テイク目でやっとOK!



思いやりをかたちに

生産流通科・食品科学科2年生

2月22日(火)5・6校時、2-2・3教室にて「あすチャレ! Academy」の講座がオンラインにて実施されました。馬島誠講師(ハンカーバーパラリンピック銀メダリスト)が「障がい者のリアル」や「ふくしま型ユニバーサルデザイン」を体験やグループワークを交え講義し、「思いやりをかたちにする方法」を楽しく学びました。



「ふくしま型ユニバーサルデザイン」って、なんですか?

福島県では、ユニバーサルデザインについて、まちづくりやものづくりなど「かたちあるもの」だけではなく、情報・サービス、教育、人材育成、意識づくり、社会参加などにおいて、「多様性を尊重するところのユニバーサルデザイン」を推進する取り組みです。

【生産流通科】

- 野菜班: 4月下旬の野菜苗販売の準備中
- 草花班: 小学校等の卒業式用鉢花を提供しました
- 作物班: 春の作付け準備中
- 畜産班: 鶏の給餌の実験調査の準備中
- 植物バイオテクノロジー班
:セッコクと八重咲きクロキシニアを培養

卒業式に満開になるよう温度管理を徹底!



【食品科学科】

- 農畜産加工班: ラズベリーの加工品開発中
- 製菓製パン班: メロンパンの練習をしました
- 実験乳加工班: 経営マーク報告会を2/25に実施

きれいに包むのが難しい!



新発想を技術で実現

食品科学科1年生

2月22日(火)5・6校時、本校パソコン室にて「福島イノベーション・コースト構想の実現に貢献する人材育成」の成果報告会に参加しました。「想像できることは実現できる」を主題に満倉靖恵先生(慶應義塾大学理工学部教授)の基調講演では、普段とは違ったリモート形式の授業に、生徒は真剣にメモを取り聞き入っていました。



カメラを装着し、好意や緊張などの感情をリアルタイムで数値化・高い数値の時に自動録画する技術。その人が何に興味があるかの研究例を取り上げ講義されました。



「福島イノベーション・コースト構想」って、なんですか?

東日本大震災及び原子力災害によって失われた浜通り地域等の産業を回復するために、新たな産業基盤の構築を目指す国家プロジェクトです。廃炉、ロボット、農林水産、エネルギー、環境・リサイクルの各分野におけるプロジェクトの具体化を進めるとともに、産業集積や人材育成、交流人口の拡大等に取り組む事業です。

他にも
いろいろな活動をしています!
(今後記事として取り上げます)

今後の予定

(今後の状況により延期・中止等)

- 3/18(金): 終業式・教室移動
- 3/30(水): 離任式・教科書販売
- 4/8(金): 始業式
- 4/11(月): 入学式(新2・3年生は休業日)

本号の
制作者



左から
1-2 星 堅来くん(書記)
1-2 鈴木健太郎くん(監事)
1-2 鈴木 悠雅くん(議長)

これからもクラス員の活動を紹介していきます!